



No.30

平成25年7月23日発行

おい町

議会だより

Ohi Town Assembly Official Report



染ヶ谷上流 (写真提供: 日本風景写真協会 知見 治 氏)

Contents

- 議会構成が変わりました..... 2
- こんなことが決まりました..... 4
- 町政ここが聞きたい! (6月定例会)..... 8
- 議会報告、研修視察報告..... 10
- あれからどうなったの?..... 11
- 輝く人..... 12

を目指します

において、新しい議会構成が決まりました。

正副議長 就任のご挨拶



中塚 寛 議長

おおい町民の皆様には、平素よりおおい町議会に対し、深いご理解と力強いご支援を賜り、心より厚くお礼申しあげます。

さて、この度の議会構成替えにおきまして、議員各位のご推挙を頂き、引き続き、おおい町議会議長を拝命いたしました。

もとより浅学非才、微力ではございますが、粉砕砕身努力いたす所存でございます。

御高承の通り、第二次安倍内閣発足以来、日本経済に一筋の光明が見え始めたものの、依然として地域経済や雇用は低迷の状況にあります。また、超少子高齢

化といわれる状況下、エネルギー政策、PPP交渉の影響、道州制議論など、それらの方針によっては多大な影響の生じる可能性があります。

このように、町の将来展望に幾多の難問が山積する状況下、二元代表制の一翼を担う議会が理事者との協力関係に加え、善政競争を通じて広く皆様の付託に応え、町の活性化を図ると共に、政策の変更によって生じる影響を回避すべく、複数の制度設計を関係機関に強く要請する活動などを通じて、議員各位と力を合わせ、名実ともに信頼される議会としてさらなる活動の充実と結実のために渾身の努力をしてまいります。

重ねて格別のご支援をお願い申し上げます。終わりに、皆様の一層のご発展、ご多幸をご祈念申し上げます。就任のご挨拶とさせていただきます。



松井榮治 副議長

5月9日の臨時議会において、議員各位からのご推挙をいただき副議長に就任いたしました。誠に光栄に存じますと同時に、その責任の重大さを痛感しているところでございます。

いま、地方分権時代を迎え、地方自治体の権限や役割が進展する中で、議会の果たすべき役割はますます大きくなってきております。執行機関の監視や評価機能だけにとどまらず、持てる機能を十分に駆使し、政策提言や政策立案に取り組み、また、その論点を住

民の皆様積極的に発信する責務があると考えております。

また、原子力発電対策特別委員会委員長を拝命いたしました。これまで同様、住民の皆様の安全安心を第一とし、更なる安全安心が確保されるよう取り組んでいく所存であります。

もとより、浅学非才の身ではあります。中塚議長のご補佐役として、公正・円滑な議会運営に努めるとともに、住民の皆様のご尊重し、広く開かれた議会を目指して誠心誠意努力してまいります。

最後になりましたが、皆様のご協力を心からお願い申し上げます。就任のご挨拶とさせていただきます。

信頼される議会

平成25年5月9日に開かれた議会臨時会

議会構成

議長	
中塚	寛

副議長	
松井	榮治

■ 常任委員会 ■

総務常任委員会 (8人)	
委員長	古石 實
副委員長	浜上 雄一
委員	猿橋 巧
委員	新谷 欣也
委員	中塚 寛
委員	森内 正美
委員	松宮 史知
委員	尾谷 和枝

産業建設常任委員会 (6人)	
委員長	小川 宗一
副委員長	猿橋 啓一
委員	中本 茂
委員	松井 榮治
委員	今川 直樹
委員	森口 精治

予算決算常任委員会 (13人)	
委員長	森内 正美
副委員長	新谷 欣也
委員	猿橋 巧
委員	中本 茂
委員	松井 榮治
委員	小川 宗一
委員	古石 實
委員	今川 直樹
委員	浜上 雄一
委員	猿橋 啓一
委員	森口 精治
委員	松宮 史知
委員	尾谷 和枝

■ その他委員会 ■

議会運営委員会 (6人)	
委員長	森内 正美
副委員長	新谷 欣也
委員	小川 宗一
委員	古石 實
委員	今川 直樹
委員	松宮 史知

※企業誘致特別委員会の活動は、産業建設常任委員会
が引き継ぎ、これからも取り組んでいきます。

■ 特別委員会 ■

原子力発電対策特別委員会 (13人)			
委員長	松井 榮治	委員	今川 直樹
副委員長	中本 茂	委員	浜上 雄一
委員	猿橋 巧	委員	猿橋 啓一
委員	新谷 欣也	委員	森口 精治
委員	小川 宗一	委員	松宮 史知
委員	古石 實	委員	尾谷 和枝
委員	森内 正美		

広報特別委員会 (6人)	
委員長	森口 精治
副委員長	今川 直樹
委員	猿橋 巧
委員	浜上 雄一
委員	猿橋 啓一
委員	尾谷 和枝

■ 一部事務組合議会等 ■

嶺南広域行政組合議会 (2人)	若狭消防組合議会 (2人)	公立小浜病院組合議会 (2人)	福井県後期高齢者医療 広域連合議会 (1人)
議員 中塚 寛 議員 松井 榮治	議員 今川 直樹 議員 浜上 雄一	議員 森内 正美 議員 尾谷 和枝	議員 中塚 寛

おおい町監査委員 (1人)	おおい町農業委員会 (2人)
監査委員 古石 實	委員 猿橋 巧 委員 小川 宗一

議会構成が変わりました

第2回臨時会(4月24日)では専決処分の承認2件、工事請負契約の締結2件、教育委員会委員の任命についてを原案どおり可決しました。第3回臨時会(5月9日)では議長・副議長選挙を行い、その後、常任委員会委員等を選任しました。

第4回定例会(6月11日から23日)では、第3セクター等の経営状況報告、条例の改正及び補正予算など報告7件、議案12件を原案どおり可決しました。また請願1件と陳情3件を審査し、3件を採択、1件を不採択としました。

■第2回臨時会

■専決処分の承認

●町税条例の一部を改正する条例

経済情勢等を踏まえ、成長と富の創出の好循環を実現する等の観点、及び社会保障・税一体改革を着実に実施するための改正を行うもの。

(全会一致・承認)

●国民健康保険税条例の一部を改正する条例

国民健康保険世帯の被保険者が、後期高齢者医療の被保険者と国民健康保険の被保険者に分かれることになってから5年間、同世帯に属する国民健康保険の被保険者の保険税が従前と同程度となるよう講じている措置について、延長等の見直しを行うもの。

(全会一致・承認)

■工事請負契約の締結

●空調設備改修工事

総合市民センターの空調設備の改修工事を行うもので、(株)荒木が1億6202万5千円で落札しています。

●本郷小学校校舎・給食講堂耐震補強工事

本郷小学校校舎及び給食講堂の耐震補強工事を行うもので、(株)時岡組が1億5067万5千円で落札しています。

(全会一致・可決)



本郷小学校

■教育委員会委員選任の同意

任期満了に伴い、大塚光子氏(岡田)を再任するもの。

(全会一致・同意)

■第3回臨時会

■議長・副議長等を選挙

議長・副議長の選挙、嶺南広域行政組合議会議員等の選挙を実施したもので、議長に中塚寛議員、副議長に松井栄治議員を選任しました。

■常任委員会委員等の選任

任期満了による委員会委員等の選任を行うもの。

■原子力発電対策特別委員会の委員定数の変更

同委員会の委員を7名から13名に変更するもの。

※詳しくは3ページをご覧ください。

■第4回定例会

■報告事項

町から議会に次の報告がなされました。

●平成24年度一般会計繰越明許費繰越計算書

●おおい町が関連する4株式会社、1財団法人、1公社の経営状況

・(株)おおい

・(株)名田庄商会

- ・わかさ大飯マリンワールド(株)
- ・(株)名田庄ウッドイーセンター
- ・公益財団法人グリーン大飯農業公社
- ・おおい町土地開発公社

●**条例の制定**……………

●**おおい町職員の給与の臨時特例に関する条例の制定**

東日本大震災復興等に伴う臨時の特例措置として、平成26年3月31日までの間、一般職の職員の期末手当等の減額改定を行うもので、期末手当、勤勉手当の額をそれぞれ1.96%減額するもの。

(賛成多数・可決)

■**条例の一部改正**……………

●**おおい町うみんぴあ大飯賑わい創出施設の設置及び管理に関する条例の一部改正**

うみんぴあ大飯賑わい創出施設に設置する記念撮影装置の利用料金の上限を定めるため、所要の改正を行うもの。

(全会一致・可決)

●**おおい町地域食料供給施設の設置及び管理に関する条例の一部改正**

地域食料供給施設「そば処よつてっ亭」をより適正な管理をするため、利用料金等の規定の見直し等、所要の改正を行うもの。

(全会一致・可決)



そば処よつてっ亭

●**おおい町頭巾山青少年旅行村の設置及び管理に関する条例の一部改正**

頭巾山青少年旅行村にある施設をより適正な管理をするため、駐車場利用料金の規定の見直しや設置施設の明確化等、所要の改正を行うもの。

(全会一致・可決)

■**条例の廃止**……………

●**旧名田庄村奨学資金の設置及び管理に関する条例の規定に基づく貸与資金の経過措置に関する条例の廃止**

平成24年度末をもってすべての貸与資金の返還が終了し、条例の目的を達したことから、同条例を廃止するもの。

(全会一致・可決)

■**平成25年度6月補正**……………

●**一般会計補正予算**

所要の経費を追加する一般会計補正予算(その1)は、予算決算常任委員会に付託され審議・報告の後、原案どおり可決しました。



頭巾山青少年旅行村(バーベキューハウス)

4653万円増額

(全会一致・可決)

【主な歳出】

○はまかせ交流センター管理運営事業

ゲートボールコート(1面)を整備するもの。

130万円

○子ども・子育て支援事業

子ども・子育て支援事業計画を策定するために(ニーズ調査等業務)業務委託等するもの。

220万円

○農業用燃油救急対策事業

認定農業者や集落営農組織等に対し、農業用に供する機械及びハウス等施設の軽油に1リットルあたり10円補助するもの。

60万円

○森林農地整備センター分収造林事業

枝内ち、ロープ巻きを行うもの。

605万5千円

○漁業用燃油緊急対策事業

漁業及び渡船業者に対し、漁業及び渡船業に供する船舶の軽油等に1リットルあたり10円補助するもの。

1000万円

こんなことが決まりました

○漁港環境整備事業

あかぐり海釣公園転落防止柵を更新するもの。

550万円

○企画振興対策事業

名田庄西谷地係にある町有地を企業誘致用地として整備するため、区画道路や下水道管敷設等の設計業務を委託するもの。

530万円

○道路新設改良事業

小堀線改良のため物件移転補償等を行うもの。

157万6千円

●特別会計補正予算

所要の経費を追加する特別会計補正予算は、予算決算常任委員会に付託され審議・報告の後、原案どおり可決しました。

1710万円増額

(全会一致・可決)

【主な歳出】

○西部地区簡易水道施設管理事業

奥名田地域の上下処理を行っている、西部地区簡易水道施設の配水配水流量計の取替工事を行うもの。

500万円

○東部処理施設管理事業

知三地域の下水処理を行っている、名田庄東部浄化センターのポンプ部品更新および汚泥貯留槽水位計取替工事を行うもの。

790万円

○医療用機械器具購入事業

大腸ビデオスコープを更新し、名田庄診療所に設置するもの。

412万7千円



大腸ビデオスコープ

■請願・陳情

○非核平和都市宣言採択についての請願 (賛成多数・不採択)

○年金2.5%の削減中止を求める陳情 (全会一致・採択)

○食料・農業・農村の発展に向けた要請 (全会一致・採択)

○TPPから食とくらし・いのちを守る要請 (全会一致・採択)

○TPPから食とくらし・いのちを守る要請 (全会一致・採択)

○TPPから食とくらし・いのちを守る要請 (全会一致・採択)

おい町関連3セク会社決算報告

(単位：円)

	売上高	当期純利益	委託料	補助金	人員数(人)
(株) おおい	313,408,404	1,833,194	238,643,810	49,593,108	119
わかさ大飯マリンワールド(株)	21,917,474	21,906,504	13,387,500	57,231,878	3
(株) 名田庄商会	172,476,137	-17,362,103	50,330,475	10,700,000	32
(株) 名田庄ウッディセンター	29,415,534	3,414,765	10,585,714	23,940,000	3

おい町が出資する株式会社平成24年度決算報告がありました。総体的に営業収益は減少しており、その主な要因は嶺南地域一帯に及ぶ景気の低迷が影響しているといえます。しかし、公益や雇用ばかりとは言えない状況も具体化しつつあります。

(株)おおいは概ね前年度並の収益を確保しましたが、委託料、補助金共に費用対効果の面からの成果はあまり見られません。平成25年度から新たに、道の駅うみんぴあなどどりの広場の施設運営が加わり、地域活性化へ更なる期待が寄せられます。

(株)名田庄商会は全部門でマイナス損益となり、会社全体で多大な損失を計上し、緊急に1000万円の融資を受けています。5ヶ年の改善計画が提出されていますが、将来の見通しに甘さがあり、議会では理事者に対して、経営者としての認識を問いつつ、更に実効のある改善を強く求めました。

(株)名田庄ウッディセンターは売上高、収益共に前年度を上回る実績をあげています。

各社とも設立に至った背景や経緯を踏まえた上で、公益法人の果たす役目と採算性の向上に努めることが、町民の理解に繋がるものであり、一層の経営努力を求めます。

こんなことが決まりました

※第3セクターとは

国や地方公共団体(第一セクター)と民間事業者(第二セクター)との共同出資で設立された法人のこと。

■平成25年第2回(4月)臨時会 議案審議結果

議案番号	議案名	議決結果	議案番号	議案名	議決結果
承認 1	専決処分の承認を求めることについて(町税条例の一部を改正する条例)	承認	議案32	工事請負契約の締結について(本郷小学校校舎・給食講堂耐震補強工事)	原案可決
承認 2	専決処分の承認を求めることについて(国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	承認	議案33	工事請負契約の締結について(空調設備改修工事)	原案可決
			同意 1	教育委員会委員の任命について	同意

■平成25年第4回(6月)定例会 議案審議結果

議案番号	議案名	議決結果	議案番号	議案名	議決結果
報告 1	平成24年度一般会計繰越明許費繰越計算書	報告	議案40	平成25年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
報告 2	(株)おおいの経営状況報告について	報告	議案41	平成25年度国民健康保険診療事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
報告 3	(株)名田庄商会の経営状況報告について	報告	議案42	平成25年度簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
報告 4	わかさ大飯マリンワールド(株)の経営状況報告について	報告	議案43	平成25年度特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
報告 5	公益財団法人グリーン大飯農業公社の経営状況報告について	報告	議案44	工事請負契約の締結について(大津呂浄水場配水池整備工事)	原案可決
報告 6	(株)名田庄ウッディーセンターの経営状況報告について	報告	議案45	工事請負契約の締結について(告知放送システム更改整備工事)	原案可決
報告 7	土地開発公社の経営状況報告について	報告	議案46	工事請負変更契約の締結について(みどりの広場整備工事)	原案可決
議案34	職員の給与の臨時特例に関する条例の制定について	原案可決	議案47	工事請負変更契約の締結について(漁業集落環境整備工事)	原案可決
議案35	地域食材供給施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案可決	請願 1	非核平和都市宣言採択についての請願	不採択
議案36	うみんぴあ大飯賑わい創出施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案可決	陳情 2	年金2.5%の削減中止を求める陳情	採択
			陳情 3	食料・農業・農村の発展に向けた要請	採択
議案37	頭巾山青少年旅行村の設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案可決	陳情 4	TPPから食とくらし・いのちを守る要請	採択
議案38	旧名田庄村奨学資金の設置及び管理に関する条例の規定に基づく貸与資金の過措置に関する条例の廃止について	原案可決	発委 1	年金2.5%削減の中止を求める意見書について	原案可決
			発委 2	食料・農業・農村の発展に向けた意見書について	原案可決
議案39	平成25年度一般会計補正予算(第1号)	原案可決	発委 3	TPPから食とくらし・いのちを守る意見書について	原案可決

■賛否が分かれた議案

	尾谷	松宮	森口	猿橋 啓	浜上	今川	森内	古石	小川	新谷	松井	中本	猿橋 巧
議案34	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
議案46	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
請願 1	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○

○は賛成 ●は反対 除は除斥 退は退席 欠は欠席(※中塚寛議長は採決に加わらない。)

こんなことが決まりました

■県が進める企業立地用の団地造成支援事業に乗らないのか

町長 候補地を絞り事業化の可能性を検討していく



今川 直樹

問

県は今県会で、嶺南の市町で5社以上の企業団地造成の場合の補助率のかさ上げと貸付金制度創設を提案した。町の負担がほとんどなしに整備できると説明している。この支援事業に町は乗らないのか。

答

(町長) うみんぴあへの誘致を優先するが、新たな産業団地の可能性事前調査を実施していく必要があると考えている。

問

うみんぴあの用地は企業が求める300㎡以上に対応できない。今回の県の提案を新聞記事で見た町民は期待しているが、どうなのか。

答

(副町長) 担当課で候補地4か所の適地調査しながら順次絞っていく作業をするところになる。

問

議会報告会でも企業誘致は町民の関心が高かった。検討の途中経過は議会にも報告すべき。

答

(副町長) 用地買収に関わる事なので慎重に進めるが、当然議会にも適切な時期に説明する。

■原発事故避難先の兵庫県と交流を進めるべき

副町長 避難先が決まったので今後検討する

問

町民の安心のためにも、普段から受け入れ市町村と親善・交流などを進めるべきである。30km圏内の住民が一斉に避難すると混乱するが、その方法は。

答

(副町長) 具体的にはこれから検討するが、自家用車が中心になる。

問

若狭全域の大規模避難を想定すると訓練が重要では。

答

(副町長) 県主導の避難訓練が順次予定されている。

■(株)名田庄商会の危機的状況打開策は町長 改革していくのが私の努め



古石 實

問

経営状況が危機的状態にある(株)名田庄商会に多額の補助金を投入することを当然とするのは極めて問題。補助金に頼らない赤字脱却に向けた抜本的な経営改善をどのように考えるか。

答

(町長) 町は生産者育成支援事業補助金として助成を行っている。自社努力で経営改善を行うことが大原則であるが、経営改善計画期間、必要最小限の支援をする。

問

国の公的支援の考え方では「単なる赤字補填を目的に公的支援は行うべきでない」と指導されているが、この補助金は赤字補填ではないのか。

答

(副町長) 会計上では赤字補填とも言えるが、趣旨は商

品開発等生産者育成支援事業と考えている。

問

今回の予算内容を見ても経費等改善が見られないが、抜本的経営改善について社長としての考えは。

答

(町長) 改革していくのが私の努めだが、社員が持つ力を発揮しやすい環境・改革・組織替えを行わなければならないと考えている。

■農産加工センターの将来のあり方をどう考えているか

副町長 生産コストの増加から販売競争力を失っており商品力・各部門の一層の努力が必要

問

赤字解消には農産加工センターの販売力を上げるのが先決。補助金でなく、委託料で販路拡大に努めては。

答

(副町長) ありがたい提案であるが、国の補助事業でもあり5年間は現計画でいきたい。

オープンした道の駅「うみんぴあ大飯」の賑わい状況は

町長 順調なスタートが切れたが、これからが正念場



猿橋 啓一

トアイス約8万7千円。道の駅全体の売上額は、約1億95万円、1日平均約66万4千円である。

問 うみんぴあ内の施設利用で、相乗効果は現れているか。

答 (商工観光振興課長) ホテルうみんぴあ内のレストラン利用者、青戸クルージングの乗船者、エルガイアの入館者は、オープン前に比べて2倍程度増えている。

問 オープン時や休日、平日は何人の来店者で賑わったのか。

答 (町長) オープン時は約3900人、土・日曜日は約2700人、平日は600人から900人で、連日町内外から多くの入館者で賑わった。5月30日から6月16日までの合計は2万7749人で、1日平均1542人である。

問 野菜・食品・工芸品・テナント各部会の販売額は。

答 (商工観光振興課長) 1日の売り上げ平均額は、野菜部会約6万7千円、食品部会約17万1千円、工芸品部会約1万8千円、テナント部会の鮮魚は、約6万1千円、ファストフード約16万円、ジェー

小堀踏切等町内5ヶ所の拡幅を

町長 通行者の安全確保・利便性向上のためJRへ強く働きかける



猿橋 巧

問 町発展のための踏切の拡幅要望は正当性がある。道路改修のネックとなる踏切の対策を求めます。

答 (町長) JRの方針は、地上交差による踏切改良は原則認めない。しかし、本町にとって重要な課題であり、小堀踏切をはじめJRに対し粘り強く働きかけを行いたい。

町長公約の名田庄地域からの水活用は断念か

町長 企業誘致の動向に対応したい

問 公約実現のため調査を踏まえ、具体的な水活用方針を示せ。(町長) 4ヶ年、3648万円でかけて調査を行い森町地区

発電所は、活断層の三連動で危険があるのでは

企画課長 規制委員会の確認作業を注視したい

問 「シイタケ」生産の支援策充実を。(農林水産振興課長) 24年度実績は、13生産組合1法人等で114トンの生産量があった。平成8年より支援策を実施し、更に菌床単価を安く供給し栽培指導の強化を行っていく。

問 三連動に対し関西電力は過小評価をしているが町の認識は。

答 (企画課長) 規制委員会は、安全性の観点から、可否のはっきりしないものは連動するとして指示を出したものと認識している。町はこの議論を注視していく。

その他の質問

本郷駅のバリアフリー化、佐分利地区水不足対策、原発の出力変動等の質問を行いました。

議会報告会を開催しました

4月24・25日町内4会場で「議会報告会」を開催しました。

平日の夜にもかかわらずご参加いただき有難うございました。

今回の報告会は、25年度当初予算内容を中心に報告いたしました。アンケートも含めていただいた貴重な意見を真摯に受け止め、今後の議会活動に生かしてまいります。

また、ご意見を各委員会で検討し取りまとめで、議会ホームページでご報告いたします。

報告事項

- ・ 12、3月議会の主な議決案件
- ・ 議会の動静
- ・ 委員会活動

皆様からの意見・ご質問

「原子力発電所関連について」

- ・ 三ウ素剤の配付先
- ・ 原発防災の避難先
- ・ 使用済み核燃料の処分
- ・ 政府エネルギー政策の動向
- ・ 原発運転停止の影響
- ・ 原発担当部署の創設



「議会運営等について」

- ・ 議会のテレビ中継方法
- ・ 議会報告会の進め方
- ・ 出前懇談会の進め方
- ・ 企業誘致の取り組み

「町行政運営について」

- ・ 道の駅オープンの課題
- ・ 主要地方道整備の見込
- ・ 保育所の委託運営
- ・ 漁船エンジン更新の補助
- ・ 納田終の農業用水路補修
- ・ 宮留防波堤工事の見直し
- ・ 山林間伐材の処分
- ・ 頭巾山山頂施設の補修
- ・ 定住促進策の推進
- ・ 塩浜海水浴場の飛沫

原子力発電対策特別委員会研修報告

【研修期日】平成25年4月4日

【研修場所】関西電力大飯発電所 【参加者】委員7人

原子力発電所敷地内 破砕帯の現地視察

国内で唯一運転を続けている大飯発電所3・4号機の冷却に用いる非常用取水路の直下にF6断層と呼ばれる破砕帯（断層）があります。国は、活断層の上に重要設備を造ることを認めておりませんので、この断層が活断層かどうかを判断する必要があります。

既に調査済みの、台場浜の地表調査やトレンチ調査、1・2号炉背面山頂付近のトレンチ調査等を基に、専門家からの意見を徴収した結果、更に追加調査が必要との原子力規制庁からの指示によって、7月中旬を目途に原子力規制委員会に報告すべく、既に調査工事に着手しておりますので、現地視察を行いました。

免震事務棟他

緊急時に対応する免震事務棟の建設は原子炉建屋から離れた協力

会社の建物があった付近とし、諸般の状況から計画を前倒して建設するとの説明がありました。

その他、埋め立て地エリアのタック防護壁の設置状況、取水口エリアの防波堤高上げ工事の状況を視察した後、意見交換を行いました。



防波堤



南側トレンチ

追跡

1年前の一般質問

あれからどうなったの？

a follow-up survey

議会だよりでは、定例会での一般質問の要旨を掲載していますが、議員からの提案などが、その後どのように町政に反映されたかを、追跡調査してみました。今回は、平成24年6月定例会からピックアップしました。



北陸新幹線は若狭ルートで整備されるべき

若狭ルートでは、小浜～大阪間が19分で行き来できる。若狭地域の未来を拓く画期的な基盤整備であるが、実現に向けた町長の決意は。
(今川直樹 議員)

町長答弁

嶺南首長と連携していく

嶺南の首長は若狭ルートで統一され、今後取り組んでいくことを申し合わせた。

どうなった？

北陸新幹線若狭ルート建設促進決起大会開催

6月23日小浜市で副知事ほか関係者約800名が参加して、今後強力な運動を展開していくと大会決議された。



販わい創出施設オープンまでの準備は

直売所の成功の鍵は、出荷者が多くて、豊富な品揃えができるかどうかにかかっているが。
(猿橋啓一 議員)

町長答弁

出店者の呼びかけ、研修、道の駅の登録等

引き続き出荷者を募る。研修は、野菜栽培や食品表示等の講習会を行うほか、2ヶ月に1回の割合で行う。

どうなった？

道の駅「うみんぴあ大飯」がオープン

連日、町内外からの多くの人で販わいを見せ、ひとまず、順調なスタートが切れた。

あれからどうなったの？

親子に笑顔を！

布絵本の会「みみちゃん」 代表 木戸口 和代 さん



布でできた絵本を自分たちの手でも作ってみたいと思い、2006年10月に名田庄図書館ボランティアとして結成されました。

紙とは違う布の温かみや手触りなどを子ども達に伝えたくて、布やフェルトで本やおもちゃを作っています。

毎月第2月曜日の午後1時30分から4時まで名田庄図書館で手芸好きや絵本好き8人が集まって活動しています。

私達がつけている布絵本は、動かすことができる絵本です。なかでも車を押すと、音が出たりボタンやファスナーの細工があったり、マジックテープで脱着できるものは子ども達に人気です。いくつかの布絵本を組み合わせて遊んでいる姿を見ると、作り手としてすごくうれしくなります。

作って感動！遊んでもらって感動！

この繰り返しで今に至っております。

今は、名田庄図書館にある『おはなしのへや』に、30点ぐらいの作品があり、大勢の親子が楽しんでくれています。

もっともっとたくさんの布絵本を作りたいので、会員さんを募集しています。縫いものが苦手な方でも、来て、おしゃべりしているうちに、素敵なアイデアが出ることもあります。

ぜひ一度名田庄図書館へ見に来てくださいね。

友釣りにハマっています

名田庄口坂本 下森 俊弘 さん

友釣りは釣ろうとする野鮎の縄張り内に、掛針をつけたオトリの鮎を侵入させ、追い払おうと体当たりしてきたところを引っ掛ける技法で、南川も6月から8月は友釣の最盛期です。

今回は、友釣りに夢中の下森俊弘さんに同行しました。

使用する道具の中で、特に竿はこだわりがあるとのことです。約9mの長さの竿を一日中扱うので、200gから250gの軽いものを使っているとのこと。高いものでは40万円から60万円もするものがあるそうです。

まず、生けす

からオトリの鮎を購入し、ポイントへ出発です。梅雨の合間の強い日差しの中でも川原へ降りると涼しい風が心地よく感じます。

仕掛けにオトリの鮎を付けてそっと流しました。鮎は縄張り意識が旺盛で、また警戒心も強いので川に入ると忍者のように動きます。水面に集中していると、一瞬竿を立て左手に腰のタモを取り出し、竿をひるがえしました。すると水中から2匹の鮎が空中に飛び出し、見事にタモへ取り込まれました。鮎が釣れた瞬間です。素早く丁寧に針を外し、釣れた鮎をオトリの鮎と交換します。こうして生きの良いものを順に使うのだそうです。

本格的に友釣りに取り組むようになって7年。初めは竿を折ったり、川で転んだり失敗ばかりでしたが、いつも二人の師匠から励ましてもらい、今日に至ったそうです。

シーズンに入ると休みの日は早朝から夕方まで没頭されるとのことでした。

(森口 記)



輝くかがや

議会の傍聴に来てみませんか

おおい町議会では、本会議をはじめ議員全員協議会や各委員会も公開しています。

次回の定例会は9月です。傍聴について詳しくは議会事務局(77-1111内線312)までお問い合わせください。

9月定例会の予定

会 期：9月4日から26日まで(23日間)

本会議：議案提案理由説明(4日)、一般質問(12日)、採決(26日)

委員会：総務、産業建設委員会(6日)、予算決算委員会(4日・17日・18日)、原子力委員会(20日)



(森口 記)

委員会の新しい構成が決まり、2年間の広報作成に携わることになりました。どうかよろしくお願ひします。現在、電子媒体等の発達で、国内の情報や世界中の出来事が、リアルタイムで我々一般人にも大量に入ってきます。テレビ、新聞、雑誌、パソコン、携帯電話等、これまでもとは比べようもない情報量に、人々は拒否反応すら起こしています。議会広報がそうならないよう努めて参ります。

住民の方々が必要とされ、親しまれる広報とするためには、読者である皆様の叱咤激励をエネルギーにして参りたいと思います。皆様のお声をお届けください。

【編集後記】

議会だよりNo.29輝く人のコーナーで、「新鞍の大滝」の所在地を久保と記載しましたが、正しくは川上です。お詫びして訂正いたします。